授業科目 老年看護学実習

【担当教員名】		対象学年	3・4	対象学科	看護
袖山 悦子 他		開講時期	前期（4年）・後期（3年）	必修・選択	必修
		単位数	4	時間数	180
【概要・一般目標：G10】 老年期にある対象の発達課題及び特性を理解し、健康障害や状況に応じた看護の役割・機能を習得する。					
【学習目標】 1. 老年期にある対象の身体・精神・社会的特徴を理解する。 2. 老年期にある対象の健康障害に応じた看護計画の立案・実施・評価ができる。 3. 健康障害のある対象及びその家族に応じた生活の質（QOL）の維持向上に向けた援助方法を学ぶ。 4. 保健医療福祉の中での看護職の役割・機能について学ぶ。 5. ソーシャルサポートシステムの概要を理解し、老年期にある対象と家族への援助方法を学ぶ。 6. 老年期にある対象の尊厳を学び、豊かな老年観と倫理観を育む。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	1. 事前学習・実習前講義で学ぶ 1) 老年期の身体的・精神的・社会的特徴 2) 施設の特徴 3) 受け持ち患者の病態 2. 病院実習3週間のなかで1名の患者を受け持ち、看護過程の展開をする 1) アセスメント 2) 看護問題の抽出 3) 看護計画の立案 4) 看護計画に沿って実施 5) 評価 3. 特別養護老人ホーム、グループホームで1週間見学実習を行いレポート提出をする 1) 施設入所している高齢者の日常生活 2) 保健医療福祉における看護の役割及び機能 3) ソーシャルサポート 実習は老年看護学領域の全教員が担当する				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		老年看護技術 ―アセスメントのポイントとその根拠―	奥野 茂代、大西 和子 編集	ヌーベルヒロカワ	2010・2,100円＋税
参考書		根拠が分かる老年看護技術	泉キヨ子、天津栄子 編集	メヂカルフレンド社	2009・4,000円＋税
		新・脳神経外科エキスパートナッシング	垣田清人、竹島春代、米戸浩子 編集	南江堂	2005・3,500円＋税
		経腸栄養管理のすべて	城谷典保 編集	南江堂	2008・4,000円＋税
		イラストで学ぶ人体のしくみとはたらき	田中越郎	医学書院	2006・3,150円
その他の資料					
【評価方法】 1. 実習時間の4/5の出席時間 2. 総合評価が60点以上であること。			【履修上の留意点】		